

長崎市介護支援専門員連絡協議会
会員各位

長崎市長 田上 富久
(公印省略)

「元気なうちから手帳」の周知について(お知らせ)

盛夏の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、本市の地域包括ケアシステムの構築には多大なる御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、長崎市では、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう長崎版地域包括ケアシステムの構築を目指し、体制整備を進めているところですが、昨年度「アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)」の普及啓発として長崎市地域包括ケア推進協議会において「元気なうちから手帳」を作成いたしました。

この手帳は、市民が元気なうちから終末期の医療や介護、これからの生き方について考え、大切な人や家族、医療・介護関係者とあらかじめ繰り返し話し合うきっかけづくりとして活用いただくことを目的としています。

令和2年度は「市政と暮らしの出前講座」において、説明し市民へ配付しておりますが、個別に配付を希望される場合は、長崎市地域包括ケアシステム推進室、包括ケアまちなかラウンジ、各地域包括支援センターでも受け取ることができ、また、長崎市のホームページからの取得も可能としております。

つきましては、「人生会議」のきっかけづくりである「元気なうちから手帳」について、人生会議を行う利用者の支援に関わる際の参考や、配付を希望する利用者へお知らせください。

どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

長崎市地域包括ケアシステム推進室

担当 島村・馬場

TEL 095-829-1421 FAX 095-829-1422

E-メール houkatsucare@city.nagasaki.lg.jp

長崎市地域包括ケアシステム推進室からの**お知らせ**です。



元気なうちから手帳をつくりました。

長崎市ホームページに掲載していますので、情報提供させていただきます。

元気なうちから手帳とは

終末期の医療や介護、これからの生き方を元気なうちから考え、自分の希望や生き方について、ご家族などの大切な方や、医療・介護に関わる方と、あらかじめ繰り返し話し合うことを「ACP（人生会議）」といいます。

元気なうちから手帳は、そのきっかけづくりとなる手帳です。



どうして必要なの？



年齢を重ね、病気と向き合いながら生活したり、介護が必要となったとき、自分で自分のことを決めることが難しくなったとき、どのようにしたら自分らしくいられるでしょうか？

老後の生活や人生の最期について考えたり、家族と話し合うことは『縁起でもない話』として、なかなかきっかけが掴めないものです。

この手帳は、あなたが自分らしく生きていくことについて考えたり、また、ご家族・あなたの大切な方・信頼している方、あるいは医療・介護に関わる方と話し合うきっかけとして、是非ご活用ください。

手帳を書くことのメリット

これからの
生き方について
考えることが
できる

大切な人に
今の自分の思いを
伝えることが
できる

もしもの時、
家族が困らない
よう備えられる

今のうちから何
を備えておけば
よいか整理が
できる



配付方法について

- 令和2年度 市政と暮らしの出前講座「人生会議をしましょう」で、説明しお渡しします。
- 個別に欲しい方は、地域包括ケアシステム推進室、地域包括支援センター、包括ケアまちなかラウンジ（江戸町）にも置いておりますので、お渡しできます。